

ホームページ 「院長さん きいて！」 への回答

「3 歳息子が●●●●●科に通い始めて、先生方や看護師の皆様にはいつも大変お世話になっております。

子どもには●●●●●を克服して楽しく食事をして貰えたらという悲願がありますので今後も何卒宜しくお願い申し上げます。

しかし、●● ●●先生が診察して下さった際の出来事があまりにも心に刺さった為、恐れ入りますが初めてこのような意見を申し上げます。

2/20（木）午前中、診察が終わり部屋を出る際、子どもが『抱っこ、抱っこ』と抱っこをせがみました。その時私は荷物と書類だけを持ち、診察室を出てから抱っこするつもりで動いていました。先生は目を合わせて下さるタイプではなく口数も少ない方で、看護師さん方も無言、そして他の患者さんで混雑していたのもあり早く診察室を出たほうが良いと無意識に焦燥感に駆られていた為です。

そして診察室のドアを閉める直前、『抱っこ、無視ですか』と言われました。

驚いて何も言えずそのままドアを閉めた為、咎める意味合いなのかただ声を掛けただけなのか、その一言の真意は分かりません。

しかも状況を客観視すると私はその言葉通り『抱っこを無視する母親』でネグレクトにも見えたのは否認めません。

ただ、私は子を抱っこしない母親ではありませんし、産後一年経ったばかりで私生活や子育てで様々な事があって日々張り詰めておりますので、何気なく放ったであろうその一言で全て崩壊し絶望的に追い詰められてしまいました。

現在は限界を超え、行政の子育て支援に相談を検討しております。

先生は診察の最後子どもに『バイバイ』と小さく声をかけて頂いていたと思うので、少しは子どもに寄り添った先生なのかとは思いますが。

しかし、親子の関係性や子どもの特性等事情を何も知らない人間が、母親に向かって無神経な言葉を投げかける事のリスクをどうか知っていただけたらと切に願います。

『抱っこ、無視ですか』

この一言は頭に深く刻まれてしまい自分を苦しめております。」

との投書に回答いたします。

この度は、受診の際に不快な思いをさせてしまいまして、誠に申し訳ありません。

担当医に確認しましたところ、抱っこを求めるお子さんを見て、過去の自分の子供の姿と重ね合わせて『抱っこ虫』という、幼児に対する親しみを込めた表現をしたものであるとのことでした。

誤解のある表現を用いてしまったことは事実であり、発言には十分留意するよう指導いたしました。

今後の受診の際には、もし担当医の変更希望がございましたら、遠慮なく予約時にお申し出いただければと思います。

病 院 長